

第2回 大分の地酒と本格焼酎を楽しむ会

300人の参加者が「豊のくに」大分の美酒&美味を丸ごと堪能



「豊(とよ)のくに」大分県の酒&食を丸ごと味わえるイベント「大分の地酒と本格焼酎を楽しむ会」が10月24日の午後7時から、東京文京区の椿山荘で開催されました。会には、県下の蔵元25社が自慢の日本酒と本格焼酎をひっさげて大集合。郷土の食材をふんだんに使ったゴージャスな料理と合わせて、集ったおよそ300名の参加者に「大分の味」を熱烈アピールしました。



サブテーマは、「日本に笑顔を醸し出そう」

参加者も元気な笑顔いっぱい



関サバ、関アジ、豊後牛…大好評だった郷土の味



日本酒も焼酎もある大分県。多彩な酒造の世界を首都圏でPR

日本酒と焼酎が共存して多彩な酒造文化を育んできた大分県。「大分の地酒と本格焼酎を楽しむ会」は、そんな豊かな酒造りの世界を丸ごと首都圏にPRするディナーパーティースタイルの試飲会。2回目となる今回は日本酒&焼酎にリキュール類も含め約130銘柄が、郷土の佳肴とともに供され、「お酒もご馳走も最高。これで参加費6千円は安すぎ」「来年も再来年も再々来年も開催してほしい！」と、参加者も大満足の饗宴となりました。



◀ 「海の幸も山の幸にも合う大分の酒を、時間の許す限りゆっくり楽しんでください」(大分県酒造組合の萱島進会長の挨拶)



▶ 乾杯の発声は西野大分県東京事務所長。「大分の酒のおいしさを友だちに」



お酒の販売コーナーも



県内の自治体も観光PR



仕込水(和らぎ水)はもう常識



◀ 最後は25蔵の酒や酒蔵グッズの当る抽選会



◀ 友だちとの語らいのひと時。中には、写真を撮ったり、ブログを書いて早速ネットに発信したり、という風景も。

